

午 前

問 題

◎指示があるまで開かないでください。

◎午前の試験問題数は 56 問で、解答時間は 1 時間 35 分です。

社会福祉概論

問題 1 次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 世界人権宣言第1条では、すべての人間は、生まれながらにして自由であるが、その尊厳と権利においては時代的、国家的制約を受けることがあると明記している。
- B 日本国憲法第25条では、社会福祉の援助方法を明記している。
- C 生活保護法第3条では、自助努力の徹底の原則を明記している。
- D 社会福祉法第3条では、福祉サービスの基本的理念を明記している。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | × | ○ | × | ○ |
| 4 | × | × | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 2 次の組み合わせのうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A ブース (Booth, C.) ----- 貧困調査
- B リッチモンド (Richmond, M.) --- グループワーク
- C トインビー・ホール----- セツルメント運動
- D 慈善組織協会 (COS) ----- 友愛訪問活動

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 3 我が国の社会福祉の歴史に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 昭和30年代に社会福祉事業法（現在の社会福祉法）などが制定されて「福祉三法体制」になった。
- 2 昭和40年代に精神薄弱者福祉法（現在の知的障害者福祉法）などが制定されて「福祉六法体制」になった。
- 3 昭和50年代に高度経済成長を背景に福祉サービスの基盤整備が完成した。
- 4 昭和60年代に地方分権が推進されて市町村への措置権移譲が行われた。
- 5 平成年代にいわゆる社会福祉八法の改正が行われ、在宅福祉サービスが積極的に推進されることとなった。

問題 4 社会福祉財政と費用負担に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 平成14年度以降の社会保障関係費は、国の一般歳出の3分の1を超えている。
- B 「地方分権一括法」により、国は法定受託事務の費用負担はせず、地方公共団体とサービス利用者が負担するという新しい社会福祉財政の制度が確立した。
- C 応益負担とは、サービス利用者の負担能力に応じて、費用を負担させる方法である。
- D 応能負担とは、サービス利用者に対して利用した福祉サービスなどの諸経費の一定割合を負担させる方法である。

(注) 「地方分権一括法」とは、「地方分権の推進を図るための法律の整備等に関する法律」である。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | × | × |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 5 次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 都道府県は、支援費の支給決定を行う。
- B 身体障害者更生相談所は、身体障害者の経済的、教育学的及び精神保健学的判定を業務とする。
- C 児童相談所は、その業務として、児童に関する相談、判定などの他に、児童を一時保護する。
- D 市町村社会福祉協議会の事業の一つとして、社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助がある。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 6 社会福祉法において社会福祉事業経営者が求められているものに関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 収益事業の積極的な実施
- 2 利用契約の申込み時における説明
- 3 利用契約の成立時における書面の交付
- 4 福祉サービスの質の評価
- 5 誇大広告の禁止

問題 7 次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 市町村は保健所を設置しなければならない。
- B 保健所には医師を置かなければならない。
- C 10人以上の患者を入院させる医療施設を病院という。
- D 看護師は業務独占の資格である。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 8 介護福祉士に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A その専門的な知識、技術に加えて専門職としての倫理が求められる。
- B その業務には家族介護者への介護に関する指導は含まれない。
- C 秘密保持義務に違反した場合、1年以下の懲役又は30万円以下の罰金に処せられる。
- D 自らの業務独占領域を拡張させながら、専門性を磨いていく必要がある。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	×
5	×	×	○	○

老人福祉論

問題 9 我が国の高齢社会の動向に関する次の記述のうち、正しいものに○，誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 2015（平成27）年には、「団塊の世代」と呼ばれる第一次ベビーブーム世代の者が、65歳以上に達する。
- B 平成16年の国民生活基礎調査によれば、65歳以上の者のいる世帯が全世帯に占める割合は、38.6%である。
- C 平成16年の合計特殊出生率は、1.50であった。
- D 平成17年版厚生労働白書によれば、2025（平成37）年には、支援を必要とする認知症高齢者の数は、2002（平成14）年の約2倍となる300万人を超えると推計されている。

（組み合わせ）

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 10 平成14年度における公的年金制度についての次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 公的年金制度は、各制度間で差異はみられるものの、被保険者概ね5人で1人の老齢基礎年金又は老齢（退職）年金の受給権者を支えていることになる。
- B 厚生年金保険の老齢年金受給権者（通算老齢年金の受給権者，繰上げ・繰下げ支給を選択した者等を除く）の平均年金月額は、20万円を超えている。
- C 老齢基礎年金平均年金月額（繰上げ・繰下げ支給分を除く）は、5万円を超えている。
- D 老齢福祉年金の受給者は年々減少し、10万人を下回るようになった。

（組み合わせ）

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B D
- 5 C D

問題 11 次の記述のうち、指定訪問介護事業所のサービスの提供において、拒否することができる正当な理由として、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 新たにサービス利用の申し出があったが、事業所の従業員の現員からはサービス提供の余裕がないため、サービスの提供を断った。
- B 利用申込者の居住地が遠隔など事業者の通常のサービスの実施区域外であり、サービス提供が困難に思われたので、サービスの提供を断った。
- C 利用申込者の要介護度が重いため、サービスの提供を断った。
- D 利用申込者の生活状況から、利用料の支払いが困難と思われたので、サービスの提供を断った。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 C D

問題 12 介護保険制度における身体的拘束の禁止に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 介護保険施設のうち、介護老人福祉施設、介護老人保健施設には身体的拘束禁止の規定があるが、医療的なケアが中心である介護療養型医療施設には、その規定が設けられていない。
- B やむを得ず身体的拘束等を行う場合には、その態様及び時間、その際の入所者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由を記録しなければならないとされている。
- C ベッドから自分で降りられないように、ベッドを柵（サイドレール）で囲むことは身体的拘束に当たらない。
- D 点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、手指の機能を制限するミトン型の手袋等をつけることは、身体的拘束に当たらない。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | ○ | × | × |

問題 13 平成17年の介護保険法の改正に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 介護予防重視の視点から、「予防給付」が新たな給付項目として設けられた。
- 2 介護給付費の増大を抑制するために、これまで1割とされた居宅介護サービスの費用にかかる自己負担は、高額所得者に限って2割とすることになった。
- 3 新たな保険料負担者を増やすために、これまで40歳以上とされていた被保険者の範囲が「20歳以上」と改められた。
- 4 介護予防マネジメント事業、総合相談・支援事業及び包括的・継続的マネジメント支援事業等を実施する施設として、地域包括支援センターが新たに設置されることになった。
- 5 要支援認定について、新たに要支援1及び2の区分が設けられ、その審査判定は介護支援専門員が行うことになった。

問題 14 指定介護老人福祉施設の介護に関する事故についての次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 事故が発生した場合には、速やかに家族に連絡をとり必要な措置を講じる他、都道府県に報告しなければならない。
- B 事故の状況及び事故に際して採った処置についての記録は、その記録の完結の日から2年間保存しなければならない。
- C 事故が発生した場合などの対応について、あらかじめ事故防止、対応マニュアル等を施設で定めて周知しておくことが望ましい。
- D 事故によって賠償すべき事態が生じる場合に備えて、介護職員は個人で損害賠償保険に加入しなければならない。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D

問題 15 介護保険制度における指定認知症対応型共同生活介護事業所に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 管理者は、認知症高齢者介護にかかわる所定の研修を修了していなくてはならないとされている。
- B 当該事業所は、5つまでの共同生活住居を有することが認められている。
- C 事業者は、自ら提供する介護の質の評価を行うとともに、定期的に外部の者による評価を受けて、常にその改善を図らなければならないとされている。
- D 利用者の食事その他の家事等は、原則として利用者と介護従業者が共同で行うよう努めるものとされている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	○	○
5	×	○	×	○

問題 16 老人保健法による老人医療の支給に関する次の文章の空欄A、B、Cに該当する語句の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。

老人医療の対象者は、必ずいずれかの「A」に加入していることが必要となる。また年齢要件は、平成14年の老人保健法の改正により、原則として受給対象者年齢が「B」に引き上げられた。さらに、老人医療を受ける者には、「C」の一部負担金が生じることになった。

	A	B	C
1	年金保険	70歳	2割あるいは3割
2	年金保険	75歳	1割あるいは2割
3	医療保険	70歳	2割あるいは3割
4	医療保険	75歳	2割あるいは3割
5	医療保険	75歳	1割あるいは2割

問題 17 高齢社会白書（平成17年版）による次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 高齢者の中で約8割の人は、何らかのグループ活動（健康・スポーツ、趣味、地域行事など）に参加している。
- B 後期高齢者は、前期高齢者に比較して自分から積極的に外出する割合は低い、約5割の人は積極的に外出している。
- C 高齢者世帯のうち、現在の暮らしについて「大変苦しい」「やや苦しい」と回答した世帯は、5割弱である。
- D いわゆる「オレオレ詐欺」事件の平成16年中の刑法犯認知件数は約14,500件であるが、65歳以上の被害者が4分の1をやや上回っている。

（組み合わせ）

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | × | ○ | × |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | ○ | × | ○ |

問題 18 「今後5か年間の高齢者保健福祉施策の方向（ゴールドプラン21）」によって推進された施策に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 いつでもどこでも介護サービスが利用できるように、「介護サービス基盤の整備」が推進された。
- 2 増え続ける施設待機者の解消のために、「緊急施設整備倍増計画」が推進された。
- 3 将来的に自立高齢者の割合を9割程度に引き上げることを目指して、元気高齢者づくりを推進する「ヤング・オールド作戦」が進められた。
- 4 利用者が安心して介護サービスを適切に選択し、利用できるような環境づくりを進めるために、「利用者保護と信頼できる介護サービスの育成」が推進された。
- 5 住民相互の支え合いを基本に置いた支え合うあたたかな地域づくりを目指して、「地域生活支援体制の整備」が推進された。

障害者福祉論

問題 19 次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 国連の障害者の権利に関する宣言は、国際障害者年に決議された。
- 2 我が国において、発達障害に関する法的定義はない。
- 3 身体障害、知的障害、精神障害に関するいずれの手帳にも、本人の写真貼付欄がある。
- 4 平成17年版障害者白書によれば、国民の約5%がなんらかの障害を有している。
- 5 平成13年の身体障害児・者実態調査によれば、在宅の身体障害者の約20%は65歳以上である。

問題 20 新たな障害者基本計画及び新障害者プランに関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 新たな障害者基本計画及び新障害者プランは、平成8年度から開始された。
- B 新たな障害者基本計画は、リハビリテーション及びノーマライゼーションの理念を継承するとともに、共生社会の実現を目指している。
- C 新障害者プランは、ノーマライゼーション7か年戦略と呼ばれている。
- D 新たな障害者基本計画の計画期間は、10年間である。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D

問題 21 障害者福祉サービスに関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 補装具の給付は、支援費制度に移行している。
- B 平成16年の障害者基本法の改正により、市町村障害者計画の策定が義務づけられることとなった。
- C 精神障害者居宅介護等事業の実施主体は、市町村（特別区を含む）である。
- D 知的障害者援護施設には、通所形態はない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	×	○	○	×
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問題 22 平成16年に改正された障害者基本法第1条の空欄A, B, Cに該当する語句の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。

この法律は、障害者の「A」及び「B」の支援等のための施策に関し、基本的理念を定め、及び国、地方公共団体等の責務を明らかにするとともに、障害者の「A」及び「B」の支援等のための施策の基本となる事項を定めること等により、障害者の「A」及び「B」の支援等のための施策を総合的かつ計画的に推進し、もって障害者の「C」を増進することを目的とする。

	A	B	C
1	日常生活	社会生活	福祉
2	日常生活	社会生活	安心と安全
3	自立	社会参加	安心と安全
4	自立	社会生活	福祉
5	自立	社会参加	福祉

リハビリテーション論

問題 23 次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 身体障害を伴わない知的障害者は、リハビリテーションの対象ではない。
- 2 リハビリテーションは、障害が固定してから開始される。
- 3 国際生活機能分類（ICF）の環境因子には、人々の社会的な態度による環境のもつ影響力が含まれる。
- 4 アメリカの自立生活運動は、知的障害児の親の活動として出発した。
- 5 自立生活プログラムは、援助を受けずに生活することを目的としている。

問題 24 廃用症候群に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 生活が不活発なことによっても生じる。
- B 心身機能の全般的な低下を生じる。
- C 認知症に似た症状が生じることもある。
- D いったん生じると改善できない。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 25 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 介護福祉士は、その業務を行うに当たり、医師その他の医療関係者との連携を保たなければならないと法定されている。
- B リハビリテーション専門職には、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などがある。
- C 介護保険制度における訪問リハビリテーション計画は、医師及び理学療法士、作業療法士又は介護福祉士が作成しなければならない。
- D 福祉用具の活用については、理学療法士や作業療法士等の専門職の助言を得ることが望ましい。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | ○ | × | ○ |

問題 26 リハビリテーションに関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 地域リハビリテーション (Community Based Rehabilitation) は、途上国において実施されるリハビリテーションの方法であり、我が国では実施されていない。
- B リハビリテーションの援助プロセスには、相談、情報収集、事前評価、リハビリテーションサービス計画の作成、実施、事後評価、終結がある。
- C 介護保険制度では、通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションは、居宅サービスに位置づけられている。
- D リハビリテーションの分野として、医学、教育、職業、社会などがある。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | ○ | ○ | × |

社会福祉援助技術（演習を含む。）

問題 27 次の文章は、日本介護福祉士会倫理綱領からの抜粋である。空欄A, B, Cに該当する語句の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。

- ・ 介護福祉士は、すべての人々の基本的人権を擁護し、一人ひとりの住民が心豊かな暮らしと老後が送れるよう利用者本位の立場から自己決定を最大限尊重し、「A」に向けた介護福祉サービスを提供していきます。
- ・ 介護福祉士は、暮らしを支える視点から利用者の真のニーズを受けとめ、それを「B」していくことも重要な役割であると確認したうえで、考え、行動します。
- ・ 介護福祉士は、利用者に最適なサービスを総合的に提供していくため、福祉、医療、保健その他関連する業務に従事する者と積極的な「C」を図り、協力して行動します。

A B C

- 1 自立――代弁――連携
- 2 自立――保障――連携
- 3 共生――代弁――調整
- 4 共生――保障――連携
- 5 共生――保障――調整

問題 28 次の記述のうち、バイステック（Biestek, F.）の七つの原則として誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 秘密保持の原則
- 2 個別化の原則
- 3 受容の原則
- 4 クライアントとの協働の原則
- 5 意図的な感情表出の原則

問題 29 面接に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 面接技法が用いられるのは、直接援助技術に限られる。
- B 面接は、援助者と利用者との対等な関係を基本とする。
- C 面接技法としては、言語的なコミュニケーションとともに、非言語的なコミュニケーションも重視する。
- D 面接の場所は、面接室で行うのが適切であり、利用者の生活の場での面接は適切でない。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | × | × |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 30 アセスメントに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 利用者の抱える生活問題だけでなく、その人の自助能力にも目を向ける。
- B 家族や友人、近隣、専門家から利用者に関する情報を収集する時は、あらかじめ利用者の了解を得ておくことが重要である。
- C 利用者を取り巻く人間関係や組織、機関との関係性を視覚的に把握・理解する方法としてエコ・マップを作成する。
- D アセスメントは、援助者が行うものであり、利用者の意向を反映する必要はない。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 31 ケアマネジメントに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A アセスメント、ケアプランの作成、ケアプランの実施、モニタリングなどの一連の過程で構成される。
- B サービスの調整は、フォーマルなサービスに限られる。
- C ケアカンファレンスにおいて、ケアマネジャーは、メンバーの役割調整も行う。
- D ケアプランの作成は、利用者及びその家族との協働作業によって進められる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

(社会福祉援助技術 (演習を含む。)・事例問題)

次の介護老人福祉施設の事例を読んで、問題32から問題34までについて答えなさい。

〔事例〕(以下、名前はすべて仮名である。)

鈴木桂子さん(介護福祉士・勤務して3年目。以下、「鈴木職員」という。)は、介護福祉士としての使命感や責任感が強く、仕事熱心で、几帳面な性格である。鈴木職員は、ほぼ同時期の入所者を対象に、仲間づくりと施設への適応を目標とするグループワークを企画した。しかし、当初からグループワークは思うようには展開せず、鈴木職員からの申し出を受け、途中から他の職員が引き継ぐことになった。一方、事態の変化に気づいた加藤主任(スーパーバイザー兼任)は、グループのメンバーから、「鈴木職員さんは、私達に対する期待や要求が高かったのかな……。話し合いの時にも、沈黙が続くと急にイライラしはじめて、場の雰囲気が重苦しい感じになって……。そしたら、突然、交替してしまって……。近頃は、挨拶しても、元気がない様子だし……」等々の話を聞き出すことができた。

加藤主任が、早速面接をしてみると、鈴木職員は、「きっかけは、自分の中で理想的なグループの運営と援助目標を意識し過ぎたせいかもしれない……。今は、みんなに迷惑かけて申し訳なかったという気持ちで一杯……。仕事に対する自分の思い上がりや力量の無さが悔やまれます。最近、この仕事が自分には向いていないのではないかと考え込んでしまっていて……。何事に対しても意欲がわかないし……。夜も良く眠れない状態で……」とためらいがちに涙を浮かべて語り始めた。

問題 32 鈴木職員と面接する際の、加藤主任のスーパーバイザーとしての初期対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 「うなずき」や「あいづち」を入れながら傾聴する。
- B 表情や声のトーンの変化を観察する。
- C メンバーからの話を伝えて反省を促す。
- D 頑張れば大丈夫と励ます。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 33 鈴木職員のグループワークが適切に展開しなかった理由に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A グループのニーズより、個別のニーズを優先した。
- B 鈴木職員の援助の進め方が、グループの雰囲気に影響を与えた。
- C グループの運営・援助目標に鈴木職員の関心が向かいすぎていた。
- D 仕事に対する自負が強く、また、メンバーへの期待が大きすぎた。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	×
3	×	○	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問題 34 鈴木職員のような援助者が、仕事を継続していくための支援として職場内ではどのような取り組みが必要か。次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A スーパービジョンやカウンセリングの体制を整える。
- B 必要に応じて、外部の専門家から指導助言を受ける体制を整える。
- C 職員が、積極的に学習会や外部の研修会へ参加する機会をつくる。
- D 複雑困難なケースについては、スーパーバイザーの担当とする。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

レクリエーション活動援助法

問題 35 グループによるレクリエーション活動援助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A グループの目標を達成するために、心身の状態に合わせたグループを組むことも大切である。
- B メンバーの個別性を考慮せず、グループ全体の成長を促すことを重視する。
- C メンバー同士2人で将棋を指すことも、レクリエーション活動の一つとして意味がある。
- D レクリエーション活動において援助者から賞賛されることは、メンバーの大きな自信となる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	○
3	○	×	×	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問題 36 レクリエーションの活動分析に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A レクリエーション活動の治療的意味合いが確認できる。
- B レクリエーション活動援助プロセスであるA-P-I-E (A-P-I-Eともいう)の前に行う。
- C 一つ一つの活動を身体的、知的、社会的、情緒的という4つの側面から分析する。
- D 情緒的側面の分析では、否定的な感情より肯定的な感情の方を重視する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	×	○	○

問題 37 個別性に応じたレクリエーション活動援助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A パチンコが好きなAさんに対して、パチンコはギャンブル性が高いので控えるよう助言した。
- B 脊髄損傷により車いすで生活をしているBさんが、宿泊旅行を計画していることに対して、交通機関やボランティアの確保に限界があるため日帰り旅行に変更するよう助言した。
- C 脊髄性進行性筋萎縮症のCさんが、仲間と音楽演奏にチャレンジしたいと希望したことに対して、手指の動作が困難なので小さめの打楽器に限定して、楽器を選定させた。
- D 言葉をうまくしゃべることができないが、音楽鑑賞の好きなDさんに対して、発声のリハビリを兼ねて歌唱活動をするよう助言した。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	×	○
3	×	○	○	×
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○

(レクリエーション活動援助法・事例問題)

次の事例を読んで、問題38から問題40までについて答えなさい。

〔事例〕

1年前の脳血管障害による右上下肢機能障害のあるYさん(56歳・男性)は、以前入院していたリハビリテーション病院の訓練で、編み物(アクリル糸タワシ)を習ったことがある。9か月ほど前に身体障害者更生施設に入所し、現在、発症前の職場への復帰を目指している。いろいろな訓練を行い、また書道クラブと華道クラブにも参加している。Yさんの作るタワシが好評になり、タワシを希望する人に作ってあげている。このようなYさんに対する個別レクリエーション活動援助が課題となっている。

発症前の趣味はパチンコとカラオケバー通いであったが、今、Yさんは書や生け花、そして編み物が趣味であると言い、中でも編み物には肩こりにもめげず、熱中している。

現在、街への外出訓練も終了し、Yさんへの各種の訓練は、退所に向けて最終段階を迎えている。

問題 38 次の記述のうち、今後、Yさんへの個別レクリエーション活動援助を導入する理由として、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 現在の趣味のほかに、屋外で行う趣味も身につける必要があるため。
- B 職場復帰の際、書道部や華道部へ入部する必要があるため。
- C 書道や華道などに興味があり、新たに茶道も習得する必要があるため。
- D 編み物などの趣味を生かして、退所後の地域での過ごし方を充実する必要があるため。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	×	○
3	×	○	×	○
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問題 39 次の文章の空欄A, B, Cに該当する語句の組み合わせとして, 最も適切なものを一つ選びなさい。

Yさんの発症前の趣味は「A」活動と言えるが, 現在は「B」要素が多く含まれている活動に興味を持っている。Yさんに対する個別レクリエーション活動援助として編み物を選択した場合, 次の作品を「C」にすることが望ましい。

A B C

- 1 娯楽型――創造的――マフラー
- 2 娯楽型――意図的――手袋
- 3 社交型――創造的――マフラー
- 4 社交型――創造的――手袋
- 5 社交型――意図的――マフラー

問題 40 Yさんに対するレクリエーション活動援助者の接し方に関する次の記述のうち, 適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A Yさんと街の書店まで同行し, 援助者が選んだ編み物の本を購入させる。
- B 編み物についての質問の内容によっては, 街の手芸店に尋ねることもできるとYさんに伝える。
- C 編み物による肩こりを訴えているYさんに, 作業療法士などの専門家に相談するよう助言する。
- D Yさんにとって最後の機会となる施設祭に, Yさんに相談せずに作品出展を申し込む。
(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

老人・障害者の心理

問題 41 ライチャード (Reichard, S.) やニューガーテン (Neugarten, B.) による高齢者の性格類型と適応パターンに関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 装甲型（防衛型）は、受け身的に人生を受け入れて、仕事への興味はないのが特徴である。
- B 円熟型は、現実に柔軟であり、自分の人生を受け入れて、様々なことに興味をもち、積極的に社会参加を行うのが特徴である。
- C 再組織型（再統合型）は、一つか二つの活動領域にエネルギーを注ぎ、そこから主な満足を得ているのが特徴である。
- D 離脱型は、老いるにしたがって役割から離れていくなど活動性は低いが、人生の満足感が高いのが特徴である。

（組み合わせ）

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 42 欲求に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A マズロー (Maslow, A.) は欲求の階層 (hierarchy) 説を唱え、第一層から第四層までを欠乏欲求と名づけた。
- B マズローの欲求階層説の最高層は、所属と愛情の欲求である。
- C 食事、排泄、運動や睡眠などの生理的欲求は一次的欲求に含まれる。
- D 欲求は生得的なものであり、学習によって得られるものではない。

（組み合わせ）

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 43 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 介護に当たる家族へのカウンセリングでは、家族自身の潜在的な力を発揮できるようにすることが重要である。
- B 不安障害の高齢者に対する認知療法では、本人の現実認知の誤りに対し、「違う考え方」を提示する。
- C 現実に直面しない人には、自律訓練法が有効である。
- D 介護が家族にもたらすストレスの要因には、一次的ストレスと二次的ストレスがあるが、日常生活動作の障害は、一次的ストレスである。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問題 44 次の組み合わせのうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 知能の加齢変化――横断的方法により測定する場合には、出生年代の差異による影響に留意する必要がある。
- 2 WAIS-R――11の下位検査により構成されている知能検査である。
- 3 結晶性知能――経験や知識の豊かさなどに結びつく能力である。
- 4 流動性知能――動作の視覚的な正確さやスピードなどに関連した能力である。
- 5 ビネー式知能検査――動作性検査と言語性検査を別々に行う。

問題 45 適応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 適応とは、個人と環境との間に調和のある満足すべき関係が保たれている状態といえる。
- B 積極的に環境に働きかけて好ましい状態を生み出していくことを順応という。
- C 個人の欲求が環境との間に不調和をもたらしたとき、そのことによって起こった緊張状態を社会的に解決することを適応機制という。
- D 欲求不満に陥った場合に、芸術やスポーツに打ち込んで満足を得る行動を合理化という。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	○	×	×
3	○	×	×	×
4	×	○	○	×
5	×	×	○	○

問題 46 発達障害に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 軽度障害の子どもに対しては、学習上のつまづきを早く発見し、その努力不足を指摘して本人の自覚を促すことが重要である。
- B 学習障害の子どもは、知的な発達全般に軽度に遅れているために、読み書きや計算が苦手である。
- C 高機能自閉症とは、自閉症のうち知的障害を伴わない状態を言う。
- D 注意欠陥・多動障害（AD/HD）の子どもは、中度・重度の知的障害や自閉症が認められないにもかかわらず、「不注意」、「多動性」、「衝動性」などによって日常生活に困難を伴う。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 47 コミュニケーションの障害に関する記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 音声言語習得後の中途失聴者の場合、時間が経つと発音の明瞭度は低下することが多い。
- 2 発声障害には、咽頭摘出により食道発声が必要になるような場合のほかに、心理的な原因によるものも含まれる。
- 3 吃音では、構音は明瞭でも話し言葉の流れに障害があり、場面や相手によってその状態は左右されやすい。
- 4 失語症は脳の言語機能が損傷された結果生じるものであるが、理解面より発話面での障害が大きい方がコミュニケーションの困難性が増す。
- 5 構音障害のある脳性麻痺者の場合、コミュニケーションの代替手段として携帯型対話装置やワープロなどが、しばしば用いられる。

問題 48 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 音楽療法では、歌をうたったり、演奏や音楽鑑賞によって、脳自体への刺激効果やコミュニケーションの円滑化が期待できる。
- B 回想法では、記憶障害が顕著である認知症高齢者を対象とする場合、回想の内容の正確さを確認することが重要である。
- C 高齢者に対する動物介在活動は、能動的、主体的にかかわる交流であることが特徴の一つである。
- D リアリティ・オリエンテーションは、認知症高齢者の場合、残存している能力へ働きかけるものである。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

家政学概論

問題 49 容器包装された加工食品に含まれるアレルギー物質の表示が食品衛生法によって義務づけられている。次の食品のうち、表示の義務がないものを一つ選びなさい。

- 1 卵
- 2 乳
- 3 そば
- 4 大豆
- 5 落花生

問題 50 食中毒に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 サルモネラは熱に弱いので、食前の十分な加熱が予防に有効である。
- 2 腸炎ビブリオは淡水で速やかに死滅するので、調理前に流水で十分に洗浄するなどの方法がよい。
- 3 カンピロバクターによる食中毒の主たる原因食品は魚介類であり、調理前に流水で洗浄するとよい。
- 4 黄色ぶどう球菌は皮膚の化膿そうなどに検出されるので、化膿そうのある者は調理に従事させないことなどで予防する。
- 5 ノロウイルス（小型球形ウイルス）による食中毒の主たる原因食品は牡蠣である。

問題 51 砂糖及びその調理に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 砂糖は水と親和性が強いので、でんぷんの老化現象を防ぎ、カステラなどをやわらかく保つ働きをしている。
- B 砂糖は水によく溶け、溶解量は水温には左右されない。
- C 砂糖溶液を加熱すると沸点が上昇し、性状が変化することを応用してシロップやあめがけなどが作られる。
- D プリンなどに使用されているカラメルソースは、砂糖溶液が250℃以上になり褐色になったものである。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | × | ○ | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | ○ | × | ○ |

問題 52 脂質に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 脂質1g当たりの熱量は4kcalである。
- B コレステロールは卵黄、レバーなどの食品に多く含まれ、血中でリポたんぱく質として存在している。
- C 植物油に多いリノール酸とリノレン酸や、魚油に多いEPAとDHAは、血中コレステロール低下作用がある。
- D 卵黄に含まれるリン脂質のレシチンは乳化剤としての働きがある。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | × | ○ | ○ | ○ |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 53 布団わたの特徴に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 木綿わたは、打直しができ安定性があるが、ほこりが出やすく重い。
- 2 ポリエステルわたは、軽くて扱いやすく、吸湿性も優れている。
- 3 羊毛わたは、保温性・透湿性に優れ、天日干しなしでも湿気を感じない。
- 4 羽毛わたは、保温性・透湿性・圧縮回復性が優れている。
- 5 羽毛わたは、軽くてフィット性に優れ、掛け布団に適している。

問題 54 次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 国勢調査では、夫婦のみの世帯は核家族世帯に含まれる。
- B 国民生活基礎調査における家族とは、住居及び生計を共にする者の集まりをいう。
- C 平成15年の国民生活基礎調査における平均世帯人員数は、3人を下回っている。
- D 民法における親族の範囲は、3親等内の血族、配偶者である。

(組み合わせ)

- 1 A C
- 2 A D
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 55 相続、遺言に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 遺産の分割の協議が共同相続人間で調わないときは、各共同相続人は、簡易裁判所にその分割を請求することができる。
- B 自筆証書によって遺言をするには、遺言者が、その全文、日附及び氏名を自書し、これに印をおさなければならない。
- C 法定相続人に子の配偶者は含まれない。
- D 配偶者と兄弟姉妹が相続人である場合、配偶者の法定相続分は2分の1である。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A D
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 56 高齢者等の住宅リフォームに関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 工事を依頼するかどうかは、被害防止のためにも時間をかけて慎重に検討する。
- 2 訪問販売の場合は、工事開始後でもクーリング・オフ期間内であれば解約できる。
- 3 訪問介護員や民生委員など身近にいる人が、不審を感じたときには、消費生活センターなどに相談するよう助言する。
- 4 引き戸等への扉の取替えは、介護保険制度の給付の対象外である。
- 5 バリアフリー住宅を推進するため、住宅金融公庫の割増融資などがある。